

ディスプレイ画面をスライドに

神奈川県立青少年センター 池田博明

研究会や学会での発表用スライドは青地に白文字と決っていたが、ワープロやコンピューターのディスプレイをそのまま利用すると、安価で仕上がりが美しい。コンピューターソフトで描いたグラフ(例えばロータス等)や絵も、そのままスライドに出来るので手軽である。筆者はもっぱらこの方法で発表用スライドを作成している。その方法を紹介する。

用具及び方法

①ディスプレイに必要な文字を描く。黒地に明るい色の文字で描くのがよい。あまり文字数・行数が多いとスライド画面に収まりきらないので注意。

②自動露出のカメラ(筆者は TTL オートを使用)にリバーサルフィルムを入れ、カメラは必ず三脚に付け、レリーズを付けること。露出時間が長いので、手持ちでは不適である。

③露出はオート、シャッター速度は B (バルブ) に設定する。絞りは適当でよい。筆者は 11 か 8 にしている。

④ディスプレイ画面がうまく収まるようにカメラの位置を決める。レンズはマクロレンズが便利。

⑤部屋を真暗にする。夜間に部屋を締め切って、電灯を消すのが一番簡単である。

⑥レリーズでシャッターを切る。後は適正露出でカメラが自動的にシャッターを解除してくれるので、それまでただ待てばよい。絞りの設定や画面の文字数によって、かなり露出時間が異なる。4~10秒程度かかるのが普通。

作成のコツ

①ソフト『一太郎』の場合、「文字飾り」→「文字色」で、文字色は 8 色に設定できるが、一画面に使う色は 3 色以内がよい。青字は目立たない。大抵は黒地に白文字で間に合う。

②意外に文字はたくさん描けない。せいぜい 18 文字、10 行がいいところだろう。一枚のスライドにあまりたくさんの文字を詰め込むのは、分かりにくくなってしまってよくないので、この程度で十分と考える。

日本生物教育学会へのお誘い

本会は、日本生物教育学会の神奈川支部として活動しています。日本生物教育学会は、生物教育上のすべての問題をあつかい、会員の研究成果を発表する場を設けています。具体的には研究発表会・研究会・雑誌の発行などです。神奈川県生物教育研究会会員の皆様のご入会をご案内申し上げます。入会希望者は、事務局(会計)まで住所・氏名・勤務先を明記の上、年会費 4,000 円をお送り下さい。

学会事務局(会計) 〒180 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-10-13 成蹊高等学校生物学教室
☎0422-51-5181(内線332) 郵便振替口座(日本生物教育学会) 東京0-8588